

名古屋医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 医療施設における多剤耐性菌アウトブレイクに与える在宅医療の持つ潜在的リスクの評価

[研究責任者] 国立病院機構名古屋医療センター

統括診療部 臨床検査科 主任臨床検査技師 中川 光

[研究の背景] 化学療法の進歩が誘発した多剤耐性菌は、医療施設での院内感染発生リスクを増大させました。院内感染は基礎疾患を有し、抵抗力の低い高齢者にとって極めて大きな懸念となります。院内感染を惹起する多剤耐性菌の保有リスクを明確にする事は、安全な医療の提供に大きく貢献します。これまでの研究では、医療機関との行き来が多い高齢者福祉施設入所者における保菌率に焦点が当たってきました。しかし、今後は高齢者が在宅で医療や看護を受ける機会が増加することが予測されています。在宅で医療や介護の対象者においても多剤耐性菌の保有リスクは高まると考えられ、医療施設での院内感染と密接に関わることも想定されます。

[研究の目的] 本研究では在宅に焦点を当てて、対象者がどの程度院内感染アウトブレイクのリスクを抱えているのかを評価します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦1990年1月1日から西暦2025年12月31日までに名古屋医療センターに入院し、細菌学的検査を受けた方。実施は30,000名を予定しています。

●研究期間：西暦2015年6月30日から西暦2026年3月31日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、過去に罹患した疾患、抗菌薬使用に関する履歴、入院歴、在宅医療・福祉介護サービス利用履歴、家族歴、細菌学的検査の結果。

●情報の管理

情報は、研究代表者機関である当院にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

● 研究代表者（研究の全体の責任者）：国立病院機構名古屋医療センター

統括診療部 臨床検査科 主任技師 中川 光

● その他の共同研究機関：

大阪医科薬科大学薬学部感染制御学教室 教授 駒野 淳

大阪健康安全基盤研究所 微生物部 余野木 伸哉

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、大阪医科薬科大学教育研究費を用いて実施されます。この研究における当院の研究員の利益相反^{*}については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究員の利益相反については、それぞれが所属する機関において、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[問い合わせ先]

国立病院機構名古屋医療センター 統括診療部 臨床検査科 主任臨床検査技師

中川 光

電話 052-951-1111 FAX 052-951-0664